

公共交通事故被害者等支援フォーラム

日 時： 令和5年11月10日（金） 13:30 ~ 16:30

場 所： 北陸信越運輸局 4階 第一会議室（オンライン併用）

参加者： 24名（会場及びオンライン参加）

主 催： 北陸信越運輸局（事務局：交通政策部バリアフリー推進課）

内 容： 〈講演1〉「安全の鐘を鳴らし続けて」

8.12連絡会 美谷島 邦子 氏

〈講演2〉「（独）自動車事故対策機構（NASVA）が行う自動車事故被害者支援について」

独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所

阿部 貴芳 氏

〈説 明〉「公共交通事故被害者等支援の現状」

北陸信越運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課長



目 的： 国土交通省では、平成24年4月に公共交通事故被害者支援室を設置し、公共交通事故により被害に遭われた方の支援に向けた取り組みを進めており、公共交通事業者の安全意識の向上や公共交通事業者による被害者等支援の意義等について、より一層理解を深めていただく目的の一環として、毎年本フォーラムを開催しています。

<参加者の感想等>（アンケートより）

- ・ 被害者の講演を拝聴し、あまりにもリアルな話に無念さを素直に感じ、事故の悲惨さが改めて思い起こされた。
- ・ 事故を起こさないために、リスク管理、ヒヤリハットの共有など、日頃から事故防止の取り組みを継続して他山の石を自山の石と捉え、愚直に安全に取り組んで行く必要を感じた。
- ・ 運行管理経験のある講師による実体験を交えた講演の内容が入ってきやすかった。会社全体の交通安全意識の醸成に生かしていきたい。
- ・ 当事者、サポート側、国の制度の三つの視点を一度で聞くことが出来て良かった。